



さの
佐野 あつし
孜 議員
(富岳会)

朝霧高原の自然環境保持が世界に誇れる対策

問 ① 100万羽以上を飼育している養鶏場について。②飼料の搬入経路と鶏卵の出荷方面。③鶏ふんの処理状況と排水の処理状況。④数年前から市有地で栽培されていた大麻畑について、近隣被害の有無と発見できなかった原因。

部長 ①現在110万羽の採卵鶏を飼育し、日量50tの卵を生産、最終的には160万羽、50名の雇用、固定資産税の増収を見込む。②飼料の搬入は24tトラックで清水港から、鶏卵は10tトラックで長野、山梨、三重、茨城方面に搬出。③鶏ふんは堆肥化し東南アジア方面に輸出、排水は適正処理し長瀬調整池へ排水。④この件に関連しての被害は確認されていない。栽培地は長瀬調整池の内部で通常のパトロールや草刈り範囲では発見困難であった。



の もと たかゆき
野本 貴之 議員
(芙蓉)

療育支援センターと子どもの療育支援

問 療育支援センターの相談支援、また予約を取るまでになぜ時間がかかるのか伺う。

部長 来所相談は状態を把握するために各種専門職員が個別に対応し丁寧な対応をしている。また他の事業も行っているため来所相談に充てられる日程が限られている。

問 人員の問題があるなら増員が必要では。

部長 マンパワーの問題があるのは事実。せっぱ詰まっている等緊急であればすぐにでも対応することを含めて対応を取っている状況。

問 通所受給者証の標準処理時間を伺う。

部長 セルフプランでは発行までに約1週間、計画相談支援事業所を介して申請をする場合は概ね3週間ほど期間をいただいている。

問 市内の放課後等デイサービス事業所の各施

児童生徒のための学校給食について

問 ①献立の検討と試食。②個人への提供の量。③提供食材と牛乳の残量の処理方法。④給食費の現年分請求方法。⑤給食費の過年度請求方法。⑥児童手当と関連した徴収方法への変更。⑦給食費の無償化への方向性。

部長 ①献立は2ヵ月前までに栄養教諭が作成。加工食品等は献立検討・物資選定部会で試食し、判断、選定。②提供する量は学校給食摂取基準を参考に提供。③牛乳等の給食残渣は基本的に焼却処分。④各学校で保護者に支払いをお願いしている。⑤当該児童生徒が在籍中は各学校で対応。卒業生や市外転出の場合は、学校給食センターから請求。令和元年度回収率は16.6%。⑥児童手当からの現年分給食費引き去りは、長期病気休暇等で欠食する可能性もあり、金額が確定しない状態での引き去りは、事務が繁雑になる可能性があるため実施できない。⑦学校給食法に「保護者が負担する」と規定されているため、無償化は考えていない。

設の安全管理や人員配置などの確認と指導をどのように行っているのか。

部長 年1回は各施設を市職員が訪問している。人員配置は、市地域自立支援協議会の療育支援部会で事業所実態調査を実施し把握を行っている。所管である県の指導監査の同行や事業者協力のもと市独自に事業所の状況確認をするなど施設運営の把握に努めていく。

ヤングケアラー(若年層の介護者)の問題提起

問 ヤングケアラーの状況把握及び相談、今後の支援について伺う。

部長 要保護児童世帯のうちヤングケアラーがいる世帯は3世帯。学校等から要保護児童ケースとして上がってきた際は児童の出欠状況や家族全体の状況を共有し、児童を孤立化させないよう速やかに支援につなげていく。

教育長 福祉や教育の関係機関で家族や生徒の情報を共有し連携を図り安全安心に配慮していく。

その他の質問

生活支援協議体、高齢者のフレイル予防推進